

(一社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第 43 回 PLM 分科会 (P14SC) 議事録

1. 日 時 2017 年 2 月 21 日 (火) 13:30~15:30
2. 場 所 (一社) 原子力安全推進協会 D 会議室
3. 出席者 (敬称略)
(出席委員) 鈴木 (主査), 中川 (幹事), 望月, 長谷川 (広木代理), 矢野, 北条, 石井, 伊藤, 上坂, 松藤, 一森, 松村, 吉成, 遊佐, 加藤 (中川代理)
(15 名)
(欠席委員) 渡邊 (副主査), 大木, 橘高, 新井, 下家 (5 名)
(常時参加者) 中野, 野中 (本田代理), 天間, 伊藤
4. 配布資料
資料P14SC-43-1 第42回PLM分科会議事録案
P14SC-43-2 人事について
P14SC-43-3-1 経年劣化メカニズムまとめ表2017年版 (追補2) 案の確認状況
P14SC-43-3-2 電力共通技術基盤 (劣化メカニズム整理表) から経年劣化メカニズムまとめ表への新たな経年劣化事象情報の反映提案について
P14SC-43-4-1 PLM実施基準2015 (追補1~2を含む) の誤記確認状況
P14SC-43-4-2 PLM実施基準2015 (追補1を含む) 別冊の誤記対応案
P14SC-43-5-1 PLM実施基準2015英訳 (案) の確認依頼 (案)
P14SC-43-5-2 PLM実施基準2015英訳 (案)
P14SC-43-5-3 PLM実施基準2015共通訳語表 (案)
P14SC-43-6-1 PLM実施基準の改定のスケジュール
P14SC-43-6-2 標準策定5年計画 (案)

P14SC-43-説明資料-1 (SC65-説明OHP) 行動指針と倫理規程について
P14SC-43-説明資料-2 (SC65-説明1) 原子力学会の行動指針
P14SC-43-説明資料-3 (SC65-説明2) 日本原子力学会 倫理規程
P14SC-43-説明資料-4 (SC65-説明3) 標準委員会の活動基本方針

5. 議事

会議に先立ち, 出席委員は 15 名で, 定足数を満足している旨確認した。

(1) 前回議事録確認 (P14SC-43-1)

第 42 回 PLM 分科会議事録 (案) が紹介され, 承認された。

(2) 人事 (P14SC-43-2)

- ・委員の退任
中国電力の中川委員の退任が報告された。
- ・委員の新任
新委員として中国電力の加藤氏が推薦されている旨説明され、審議の結果委員として選任された。
- ・常時参加登録の解除
北海道電力の本田氏の常時参加登録の解除が報告された。
- ・常時参加登録の承認
北海道電力の野中氏から常時参加登録の希望がある旨紹介があり、審議の結果常時参加が承認された。

(3) PLM実施基準2017年版（追補2）の確認状況（P14SC-43-3-1）

まとめ表2017年版（追補2）の確認状況が報告された。今回の追補から標準の誤記確認のプロセスとして学会標準版と高経年化技術評価書との整合確認を実施することとなり、各委員で分担して確認することとなった。整合確認は学会標準版を作成してから実施するため、4月初旬に改めて確認依頼を実施することとなった。

スケジュールが共有されるように、各工程の終わりには各委員に周知することとなった。

(4) 電力共通技術基盤からの反映提案（P14SC-43-3-2）

電力共通技術基盤から非常用ディーゼル発電機関非常用調速装置パイロット弁の性能低下のまとめ表への反映提案があり、審議の結果まとめ表に追加することになった。

(5) 2015年版誤記確認（P14SC-43-4-1,2）

2015年版の誤記確認の状況が報告され、2017年版（追補2）の本体の確認及びまとめ表の誤記確認を今後実施することとなった。まとめ表の誤記が発見されたことが報告された。事象の抜けではなく、緊急を要するものではないため、2017年版の確認と併せて行う誤記確認結果に入れて専門部会に報告することとなった。

(6) 2015年版の英訳（P14SC-43-5-1,2,3）

2015年版の英訳案の確認依頼が行われた。附属書Aの例、附属書Eは英訳が終わっていないため、後日送付されることとなった。期限が明記されていないが、5月初旬までに完了を目標とする。まずは全体で共通の訳語表を全委員で確認し、その後担当を割り振って個別の記載内容を確認することとなった。確認に当たっては、PLMの観点で訳に問題がないか確認する。なお、共通訳語表との照合のみを実施した場合は“共通訳語表との整合のみを確認した”旨を連絡することとなった。

(7) スケジュール（P14SC-43-6-1,2）

次年度審議予定のまとめ表の対象プラントを確認した。また、次回の本格改定の検討は2018年度から実施することを確認した。

6. その他

次回分科会は 5 月 22 日の週に実施することで仮決めした。(後日, 5 月 23 日に仮決めした。)

原子力学会の行動指針及び倫理規程並びに標準委員会の活動方針について講習を実施した。

以 上